

## 令和3年度「未来につながる持続可能な農業推進コンクール」において、(株)ベジーツ・ベジーツファームが農林水産省農産局長賞を受賞しました

農林水産省主催の令和3年度「未来につながる持続可能な農業推進コンクール」GAP部門において、御代田町(株)ベジーツ・ベジーツファーム(代表:山本裕之氏)が、最高賞である農林水産省大臣賞に次ぐ、農産局長賞を受賞しました。

表彰式は本来であれば東京の農林水産省で行われますが、新型コロナウイルスが収束していない状況であるため、4月27日に県庁農政部長室で県農政部長からの伝達式として執り行いました。

(株)ベジーツ・ベジーツファームでは、令和元年にASIAGAP、令和3年にはJGAPを取得しています。社員一丸となり、社内で生産工程管理の改善や生産効率の向上等に取り組んできました。結果、労働時間の削減や正品率の向上等、目に見える成果を上げてきたことが評価されました。

代表取締役社長の山本裕之氏は、町の農業委員や県農業士協会会長を務める等、地域や若手生産者の模範となる活動を展開しており、今回の受賞について、「GAPを様々な人に広く知ってもらいたい」「今までGAPを懸命に取り組んできた社員の励みになる」と嬉しそうに語っていました。

今後、当センターでは、研修会等での山本氏の事例発表を予定しています。本事例の普及によるGAPの取組の加速化を図ります。

※GAPとは、良い農業を実践するための農業生産工程管理(Good Agricultural Practice)のことです。



左から、県農政部長と山本裕之氏